

# 2011年10月15日(土)より開始!

## インフルエンザ予防接種は早くうけましょう!

○印が小児科外来でインフルエンザワクチン接種できる時間です

★ワクチンの効果は接種後2週間で現れ、5ヶ月間有効です

★予約なしで接種できます

★卵アレルギーのある方は接種できないことがありますので事前に主治医にご相談ください

### 【休診のご案内】

- ★ 11月19日(土) 第3土曜日
- ★ 11月21日(月) 第3月曜日
- ★ 12月10日(土) 第2土曜日休診とさせていただきます

	月	火	水	木	金	土
受付時間	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45
午前	○	○	○	○	○	○
受付時間	13:45~ 15:00	13:45~ 15:00	/	13:45~ 15:00	13:45~ 15:00	/
午後	○	○		○ ※注	○	
受付時間	15:00~ 18:00	15:00~ 18:00	16:00~ 18:00	15:00~ 18:00	15:00~ 18:00	
夕方	○	○	○	○	○	

※注 木曜日午後の受付はこのカレンダーの太字部分のみです。ご注意ください。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	<b>27</b>	28	29

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	<b>10</b>	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	<b>24</b>	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	<b>8</b>	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	<b>22</b>	23	24
25	26	27	28	29	30	31

# インフルエンザは、毎年冬には必ず流行する呼吸器感染症で、 普通の風邪とはまったく違う病気です！

インフルエンザで肺炎、気管支炎、熱性けいれん、中耳炎などを起こす方や中には脳炎、脳症、ライ症候群、顔面神経麻痺などになる方もいます。もちろんワクチン接種を受けていても、インフルエンザに100%かからないとは言えません。しかし、ワクチンを受けることにより軽症で済むことがあります。

ワクチンの副反応はほとんどありません。特に喘息や心臓病・糖尿病などを持っている方こそ、インフルエンザになると重症になりますので、ワクチンを受けて下さい。

また中学・高校・大学受験シーズンとインフルエンザの流行は重なりますので、あらかじめインフルエンザワクチンを受けておくことをお勧めします。生後6ヶ月以上の乳児、妊婦、授乳中の方も接種できます。

インフルエンザは流行するウイルスの型が変わるため、毎年ワクチンを受ける必要があります。

今年度のワクチンは、A パンデミック型・A 香港型・B 型のウィルスに対応した3価ワクチン（国産）です。

- ☆ 12月には接種を終了されることをお勧めします
- ☆ 13歳未満の方は2回、13歳以上の方は1回（または2回）接種が原則です。2回接種の時は4週間隔が最適です。
- ☆ 卵アレルギーがなければ、生後6ヶ月から接種可能です。

	料金（税込）
組合員	2,620 円
非組合員	3,150 円

♪接種時には母子手帳を忘れずに♪

- ワクチンの効果は、接種後2週間で現れ、5ヶ月間有効です。遅くとも12月中には必ず済ませましょう。
- 予約なしで接種できます。
- 卵アレルギーのある方は接種できないことがありますので、事前に主治医へご相談ください。